

ようこそ いらっしゃいました！

対面会場の方： 開始まで、グループ内でのご歓談をお楽しみください。

オンライン会場の方： グループ対話の「参加」「傍聴」の別を表示ください。



「気候市民会議つくば2023」フォローアップ・イベント ～市民会議の提言を活かし、気候変動対策をさらに推し進めよう！～

2025年11月8日(土) 13:30～15:30 於：つくば市役所コミュニティ棟&オンライン会議室



はじめに：めざすこと

「つくば市およびその他の自治体で、
市民会議の提言を
気候変動対策の推進に
どのように活かすことができるか」を
改めて考える



はじめに：おしながき

報告①

気候市民会議つくばの概要・提言の概要を知る

報告②

ロードマップとその進捗・実行計画改定の状況を知る

パネルディスカッション

自治体において、気候市民会議を実施することの意義は？

グループ対話

市民の声（提言）を温暖化対策（実行計画等）に反映するには？



はじめに：なかまたち

イベントの主役

ご参加のみなさん（対面会場・オンライン会場）

報告者（報告順）

- ・松橋啓介さん（国立環境研究所）
- ・村上千里さん（環境政策対話研究所）
- ・五十嵐立青さん（つくば市）
- ・磐田朋子さん（芝浦工業大学）

運営・進行

- ・徳田太郎（ユニベルシタスつくば）&なかまたち



はじめに：ごあんない

対面会場の方へ：

- ・録画・撮影しております。ご了承ください。
(参加者の方は原則として映りません)

オンライン会場の方へ：

- ・グループ対話時以外は、カメラ・マイクをオフに願います。
- ・グループ対話への「参加」「傍聴」の別を表示ください。



つくば市長

五十嵐 立青さん



報告①

気候市民会議つくばの概要・提言の概要を知る

報告②

ロードマップとその進捗・実行計画改定の状況を知る

パネルディスカッション

自治体において、気候市民会議を実施することの意義は？

グループ対話

市民の声（提言）を温暖化対策（実行計画等）に反映するには？



の概要を知る



松橋啓介
国立環境研究所

気候市民会議

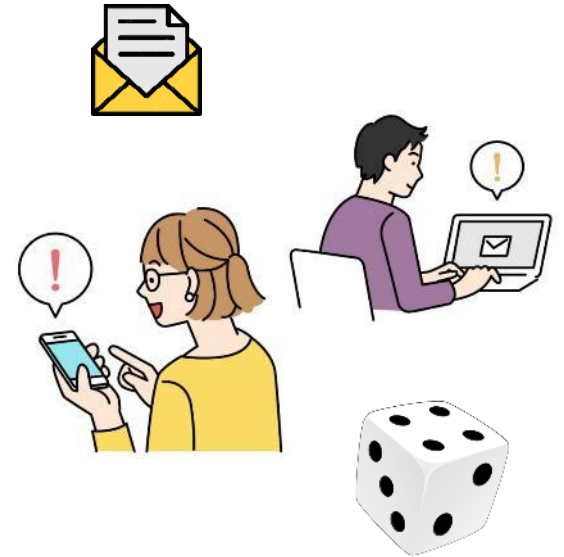
みんなの意見
を聞く工夫

「くじ引き」で選ばれた市民が
「話し合い」に参加して、
「ゼロカーボンの未来」を実現
するために必要な
「取り組みや施策」を提言する



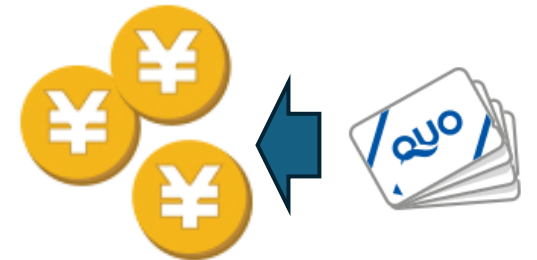
つくば市での「くじ引き」の例

- 16歳以上の市民**210,410人**のうち、**5,000人**を選んで招待状を送った
- **569人**が参加を希望した
- **50人**の参加者をくじ引きで選んだ
- 年齢性別、地区、関心を市の縮図に



参加希望者が
多かった

すべてもれなく
対応します





参加：抽選市民50人（ミニ・パブリックス）

いつ：2023年9月～12月 日曜日午後1時から5時 6回

どこ：市役所、イーアスホール（第3回）

目的：「2050年に『**ゼロカーボンで住みよいつくば市**』
を実現するために、市と市民（地域・事業者）には、
どのような**取り組みや施策**が必要となるか？」

主催：実行委員会（つくば市、産総研、国環研、筑波大）

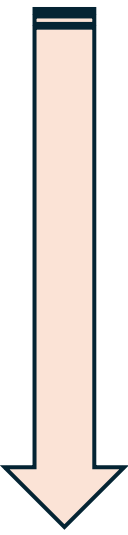
「話し合い」の工夫

- 少人数5～6人×9グループ
- 12人のファシリテーター・チーム
「みんなの発言を互いに**よく聴く**」
「いろいろな意見を**歓迎する**」
- 短い情報提供(約4～12分)×13人



「提言づくり」の工夫



- 
- 共感を「いいね👍」シールで示す
 - シールの多い項目を提言素案にする
 - 素案をブラッシュアップする(第5回)
 - 80%以上の高い同意が得られた案を提言に採択(第6回)
 - アイデア750件→提言素案79件～
→提言案87件→**提言74件**



提言の概要を知る

村上 千里
環境政策対話研究所

提言はこちらから

気候市民会議つくば2023


更新日：2024年10月11日

ページID： 13191

気候市民会議つくば2023

気候市民会議つくば2023は全6回の日程を終了しました。

詳細につきましては、各回のページや報告書をご覧ください。

 [気候市民会議つくば2023提言書（PDFファイル：212.0KB）](#)

 [気候市民会議つくば2023報告書概要版（閲覧用）（PDFファイル：2.0MB）](#)

 [気候市民会議つくば2023報告書概要版（製本印刷用A4）（PDFファイル：1.7MB）](#)

 [気候市民会議つくば2023報告書（表紙、目次、第1章から第4章）（PDFファイル：16.0MB）](#)

 [気候市民会議つくば2023報告書（第5章から第7章）（PDFファイル：15.9MB）](#)

 [気候市民会議つくば2023報告書（第8章から第12章）（PDFファイル：10.9MB）](#)

P6-7

■住まい・建物

取組	「ゼロカーボンで住みよいくば市」実現のため推進する取組＝市民（地域・事業者を含む）は何をすることが必要か
施策	「ゼロカーボンで住みよいくば市」実現のための効果的な施策＝つくば市は何をすることが必要か
①	会議終了後に、実現可能性を高めるために市から加筆修正の提案があり、WGで検討・決定した箇所

《ゼロカーボンで住みよいくば市》像	推進する取組（市民（地域・事業者を含む）は何をすることが必要か）/効果的な施策（つくば市は何をすることが必要か）
断熱性能が高い	取組9 市民や事業者は、既築建物の断熱改修を進める
	取組10 事業者は、建物を建てる際にはBELS（建築物省エネルギー性能表示制度）の高い基準を満たす
	施策19 ゼロカーボン実証実験のために、市は、ゼロカーボンのモデルとなる市営住宅や施設をつくる
	施策20 省エネ改修への理解を進めるために、市は、空き家をモデル的に改修して、その情報を公開する
	施策21 《建築物の断熱性能を高めるために、》国（県・市）は、省エネランクに応じた断熱改修に補助金を出す
太陽光パネル・蓄電池が普及している	取組11 《太陽光パネルの普及促進のために、》市民や事業者は、建築物を建築するときは、積極的に太陽光パネルを設置する
	施策22 《太陽光パネルの普及促進のために、》国（県・市）は、太陽光パネル設置・蓄電池設置に補助金を出す
	施策23 市民や事業者が安心して太陽光パネルを設置するために、市は、環境や景観に配慮したルールをつくり、健全な業者を認定する。また、適正な金額を開示する
	施策24 《市民や事業者が安心して太陽光パネルを設置できるようにするために、》市（国）は、太陽光パネルのリサイクルや処分の経費を補助する
	取組12 省エネと快適さの両立のために、市民や事業者は、AIによる自動空調システムを導入する

移動・まちづくり

「ゼロカーボンで住みよいくば市」像	推進する取組/効果的な施策
歩いて暮らせる	取組1 徒歩や自転車等を応援するために、事業者は徒歩や自転車等のゼロカーボン移動にポイント（商品券など）を与える
	取組2 《徒歩や自転車等を応援するために、》事業者は、移動距離や歩数に応じてポイントなどを与えるしくみをアプリで作る
	施策1 歩きを応援するために、市は、《徒歩や自転車等の》ゼロカーボン移動にポイントを与える
	施策2 歩きやすくするために、市は、広く安全な歩行者空間（ベンチ・雨よけ・歩きやすい素材や遊歩道）を整備・拡充する
	施策3 天候に左右されず徒歩・自転車移動ができるように、市は、屋根付き道路等の雨を防げるものの整備を行う
自転車が便利	施策4 《天候に左右されず徒歩・自転車移動ができるように、》市は、屋根付き道路等のモデル地区を整備する
	施策5 徒歩・自転車移動ができるように、市は、屋根や木などで日陰をつくる
	取組3 自転車移動を増やすために、事業者や地域・自治会は、（電動・非電動問わず）レンタサイクルを増やす
	施策6 自転車が快適に走れるように、広く安全で見てわかりやすい自転車専用レーンを設置する

「ゼロカーボンで住みよいくば市」像	推進する取組/効果的な施策
電化・省エネが進んでいる	施策15 電気自動車や普及させるために、市（県・国）は、電気自動車の税金をなくす
	施策16 電気自動車や普及させるために、市は、電気自動車を持つ（取得・保有する）際の補助金や減税のメリットをより広く知らせる
	施策17 水素自動車を利用しやすくするために、水素ステーションを普及させる
緑が多い	取組6 外で泳げるように、《事業者や地域・自治会は、》日陰のできる街路樹や緑地などを増やす
	取組7 《まちの緑を増やすために、》商業施設は、グリーン化を進める
その他	取組8 道路沿道緑化のために、事業者は、土日休みだけでない多様な働き方を進める
	施策18 渋滞緩和とエコドライブ促進のために、警察（県・市）は、信号機の制御にAIを活用する

住まい・建物

「ゼロカーボンで住みよいくば市」像	推進する取組/効果的な施策
	取組9 市民や事業者は、既築建物の断熱改修を進める

提言の作成プロセス

P4-6

第2回



第3回



第4回

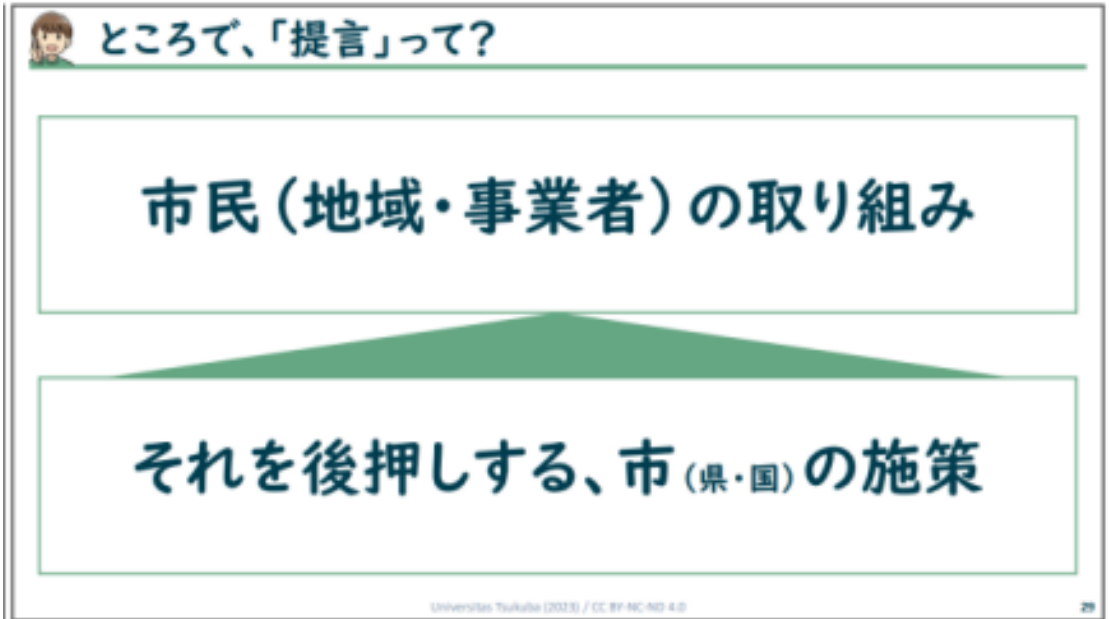


- 「移動・まちづくり」「住まい・建物」「消費・生活」の3つのテーマについて、提言作成に必要な情報を知る
- 3つのテーマそれぞれの視点から、「ゼロカーボンで住みよいつくば市」を実現するための提言案を考える

移動・まちづくり

住まい・建物

消費・生活



1

ゼロカーボンで住みよいつくば市をイメージする

2

市民・地域・事業者の取り組みを考える

3

それを後押しする市（県・国）の施策を考える

提言の構成・内容 P6-7

移動・まちづくり

「ゼロカーボンで 住みよいつくば市」像	推進する取組/効果的な施策
歩いて 暮らせる	取組 1 徒歩や自転車等を応援するために、事業者は徒歩や自転車等のゼロカーボン移動にポイント(商品券など)を与える
	取組 2 《徒歩や自転車等を応援するために、》事業者は、移動距離や歩数に応じてポイントなどを与えるしくみをアプリで作る
	施策 1 歩きを応援するために、市は、《徒歩や自転車等の》ゼロカーボン移動にポイントを与える
	施策 2 歩きやすくするために、市は、広く安全な歩行者空間(ベンチ・雨よけ・歩きやすい素材や遊歩道)を整備・拡充する
	施策 3 天候に左右されず徒歩・自転車移動ができるように、市は、屋根付き道路等の雨を防げるものの整備を行う

住まい・建物

「ゼロカーボンで 住みよいつくば市」像	推進する取組/効果的な施策
断熱性能が 高い	取組 9 市民や事業者は、既築建物の断熱改修を進める
	取組 10 事業者は、建物を作る際にはBELS(建築物省エネルギー性能表示制度)の高い基準を満たす
	施策 19 ゼロカーボン実証実験のために、市は、ゼロカーボンのモデルとなる市営住宅や施設をつくる
	施策 20 省エネ改修への理解を進めるために、市は、空き家をモデル的に改修して、その情報を公開する
	施策 21 《建築物の断熱性能を高めるために、》国(県・市)は、省エネランクに応じた断熱改修に補助金を出す

消費・生活

「ゼロカーボンで 住みよいつくば市」像	推進する取組/効果的な施策
シェアリングが 普及している	取組 22 使い捨てを減らすために、市民は、学用品を再利用する
	取組 23 制服を買わなくても済むように、学校は、私服と制服を選べるようにする
	施策 32 使い捨てを減らすために、市は、学用品を貸し出して繰り返し使う
	施策 33 資源を有効利用するために、市は、教科書や参考書のデータの入ったタブレットを貸与する

取組 「ゼロカーボンで住みよいつくば市」実現のため推進する取組＝**市民(地域・事業者を含む)は何をすることが必要か**

施策 「ゼロカーボンで住みよいつくば市」実現のため効果的な施策＝**つくば市は何をすることが必要か**

《 》 会議終了後に、実現可能性を高めるために市から加筆修正の提案があり、WGで検討・決定した箇所

移動・まちづくり

ZCで住みよいつくば像

歩いて暮らせる

自転車が便利

公共交通が便利

電化・再エネが進んでいる

緑が多い

その他

取組 施策

・・・徒歩移動にポイント、徒歩が快適なまちづくり

・・・レンタサイクル、自転車レーンの設置

・・・バスの利便性アップ、自動運転のモデル地区

・・・EV充電設備、減税・補助金、水素ステーション

・・・街路樹、緑地を増やす

・・・多様な働き方、信号機のAI制御

住まい・建物

ZCで住みよいつくば像

断熱性能が高い

太陽光パネル・蓄電池が普及している

AI自動制御が普及している

涼しい・暖かい場所に人が集まる

消費電力量等の把握がされている

その他

取組 施策

- ・・・断熱改修、新築基準、モデル施設、補助金
- ・・・新築への設置、補助金、ルール、リサイクル
- ・・・空調制御、補助金、開発・研究補助
- ・・・市民が集える場所づくり
- ・・・エネルギー使用量・CO2排出量把握、アプリ開発、見える化サイト
- ・・・学習、技術者・管理者養成、研究機関への期待、学習の場の提供(学校、市民)

消費・生活

ZCで住みよいつくば像

シェアリングが普及している

ゼロカーボンな消費・選択が容易

地産地消が進む

フードロスや容器包装が減っている

その他

取組 施策 連携？

・・・学用品・制服、学校で(学用品、教科書)

・・・CFPの小さい商品の購入、CFPの表示

・・・地産商品の購入、農家支援、
地産地消センター(道の駅・朝市)

・・・規格外品、量り売り、マイ容器、
減税で事業者を支援、給食での使用

・・・移動販売、広報、進捗報告
ごみ自動分別技術、次世代エネルギーの導入

参考

脱炭素かわさき市民会議

<https://cdn.goope.jp/61503/220411125147-6253a5d39ed1f.pdf>

かながわ気候市民会議 in 逗子・葉山

<https://cdn.goope.jp/61503/240329110131-660620fb9175d.pdf>

田園都市青葉・気候市民会議

<https://cdn.goope.jp/61503/240912222901-66e2ec9d6ce15.pdf>

脱炭素ちがさき市民会議

<https://cdn.goope.jp/61503/250326000531-67e2c63b7afa4.pdf>

脱炭素かまくら市民会議

<https://cdn.goope.jp/61503/250329151827-67e790b3b125d.pdf>

より詳しい情報は、環境政策対話研究所

<https://inst-dep.com/>



報告①

気候市民会議つくばの概要・提言の概要を知る

報告②

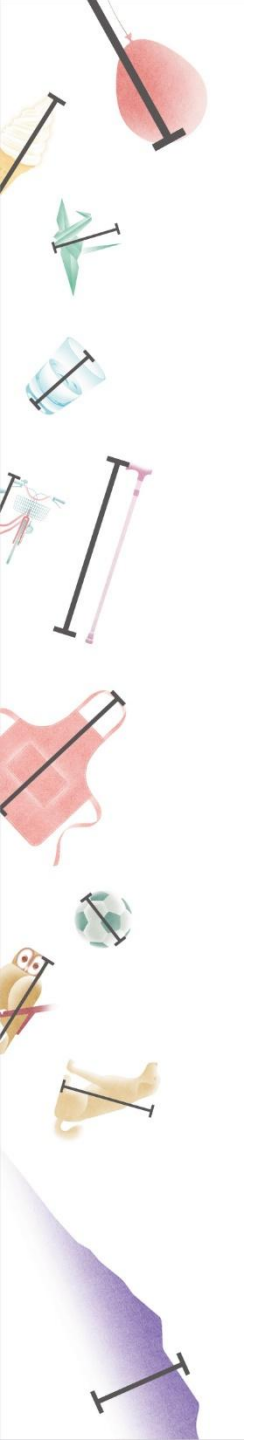
ロードマップとその進捗・実行計画改定の状況を知る

パネルディスカッション

自治体において、気候市民会議を実施することの意義は？

グループ対話

市民の声（提言）を温暖化対策（実行計画等）に反映するには？



ゼロカーボンで住みよい つくば市への進捗 ～ロードマップの策定とその後～

つくば市

2025年11月8日(土)

- 1 ロードマップ策定への想い
- 2 ロードマップ策定に当たり工夫した点
- 3 ロードマップのデザイン(見方)
- 4 1年経過後のロードマップ
- 5 ロードマップの今後

- 提言がゼロカーボン推進の根拠となる
- 熟議の結果を市としても形にすることが重要
- 気候市民会議で「すべてもれなく対応」と約束



ロードマップへ

2 ロードマップ策定に当たり工夫した点

1 目的「〇〇のために」を重視

- 目的の実現に寄与するには？手段が難しいから終わりではない
- 実現の過程を3つのフェーズに分解
- 「取組」も市としてどう後押しできるのかを考えて個票を作成

2 策定の過程でも内外の対話を重視

- 気候市民会議への情報提供者と、ロードマップ策定の各担当課との相談の場
- フォローアップ・チーム（気候市民会議参加者間のゆるやかな情報ネットワーク）への意見照会
- 市長から市幹部職員への指示、環境政策課と各担当課の個別フォローアップ

3 市民にとって見やすいデザイン

- ダイジェストと個票編の2部構成
- テーマごとに着色し、1ページに1個票

3 ロードマップのデザイン(見方)

ゼロカーボンで住みよい つくば市へのロードマップ

～気候市民会議つくばの提言実現を目指して～



つくば市

令和6年(2024年)10月 策定
令和7年(2025年)9月 一部修正

● 個票の見方

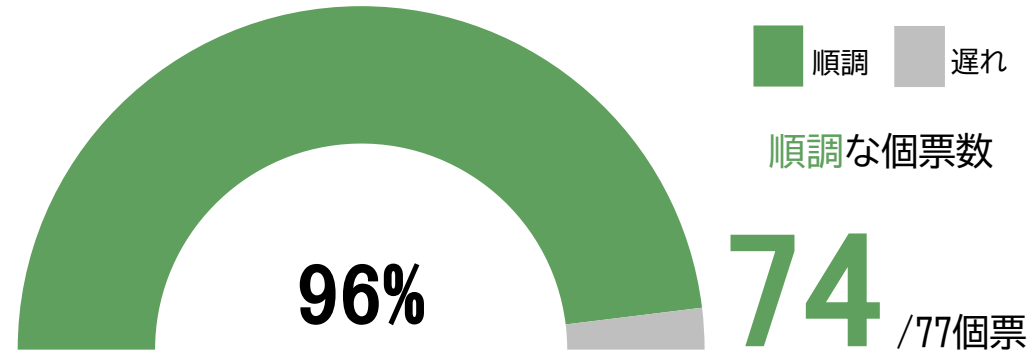
<提言内容>	
テーマ	移動
提言番号	
提言内容	徒歩や自転車等での移動を応援するため、既存事業を継続するとともに、事業者に対して、茨城県公式健康推進アプリ「元氣アップ!りいばらき」の機能を活用し、スマートフォンで従業員の健康づくりをサポートする、「いばらき健康経営推進事業所認定制度」の募集案内・周知を行う。
<実施内容>	
実施内容	市は、徒歩や自転車等での移動を応援するため、既存事業を継続するとともに、事業者に対して、茨城県公式健康推進アプリ「元氣アップ!りいばらき」の機能を活用し、スマートフォンで従業員の健康づくりをサポートする、「いばらき健康経営推進事業所認定制度」の募集案内・周知を行う。
実施課題	・県の意向及び当該事業の今後の動向が課題
担当部課室	保健部健康増進課 都市計画部サイクルコミュニティ推進室
	個票の担当課室名 です。
	関連する 個票番号
	関連する個票番号 です。
<実施工程>	
フェーズ1	・既存事業の継続 ・茨城県の担当部局との調整 ・「いばらき健康経営推進事業所認定制度」の周知・広報
フェーズ2	実施内容の手順を分解し、フェーズとして整理した工程です。 フェーズ1から3へ段階的に進めることで、提言内容を実現します。
フェーズ3	※計画期間である令和12年度(2030年度)までを示しています。
フェーズ1	
フェーズ2	
フェーズ3	
<既存の取組>	
既存の市計画等	○第4期つくば市健康増進計画【健康つくば21】(令和3年3月)4.1(3)生活活動と運動 ○つくば市自転車安全利用促進計画(平成27年4月)5.2.3 基本目標3 環境に優しく健康に役立つ自転車を楽しむまちづくり ○つくば市自転車活用推進計画(令和6年度中策定予定)
既存の市関連事業	運動推進事業、自転車のまちづくり推進事業、高齢者電動アシスト自転車等購入費補助事業
	関連する既存の市の計画や事業を記載しています。
<進捗管理・修正履歴欄>	
順調	2024年度の進捗状況と個票の修正履歴を記載しています。

<個票1>

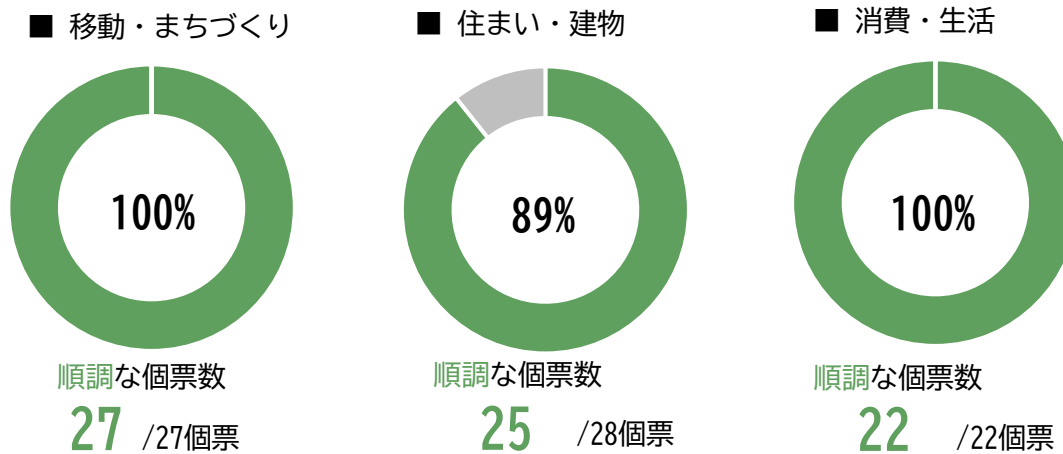
<提言内容>							
テーマ	移動・まちづくり	〈ゼロカーボンで住みよいつくば市〉像	歩いて暮らせる				
提言番号	取組 1	実施主体	市・事業者				
提言内容	徒歩や自転車等を応援するために、事業者は、徒歩や自転車等のゼロカーボン移動にポイント（商品券など）を与える						
<実施内容>							
実施内容	市は、徒歩や自転車等での移動を応援するため、既存事業を継続するとともに、事業者に対して、茨城県公式健康推進アプリ「元気アップ！りいばらき」の機能を活用し、スマートフォンで従業員の健康づくりをサポートする、「いばらき健康経営推進事業所認定制度」の募集案内・周知を行う。						
実施課題	・県の意向及び当該事業の今後の動向が課題						
担当部課室	保健部健康増進課 都市計画部サイクルコミュニティ推進室	関連する 個票番号	個票2と類似				
<実施工程>							
フェーズ1	・既存事業の継続 ・茨城県の担当部局との調整 ・「いばらき健康経営推進事業所認定制度」の周知・広報						
フェーズ2	—						
フェーズ3	—						
	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度
フェーズ1	—						
フェーズ2	—						
フェーズ3	—						
<既存の取組>							
既存の市計画等	○第4期つくば市健康増進計画【健康つくば21】（令和3年3月）4.1（3）生活活動と運動 ○つくば市自転車安全利用促進計画（平成27年4月）5.2.3 基本目標3 環境に優しく健康に役立つ自転車を楽しむまちづくり ○つくば市自転車活用推進計画（令和6年度中策定予定）						
既存の市関連事業	運動推進事業、自転車のまちづくり推進事業、高齢者電動アシスト自転車等購入費補助事業						
<進捗管理・修正履歴欄>							
順調	—						

4 | 年経過後のロードマップ

【全77個票※1の進捗状況】



【テーマ※3ごとの進捗状況】



個票44

《クールシェア・ウォームシェア推進のために、》市と事業者は、(子どもを含めた)市民が集える涼しい・暖かい場所をつくる

個票60

ゼロカーボンへの理解を促進するために、市(県)は、ゼロカーボンに関するカリキュラムを学校等に導入する

個票77

《ゼロカーボンで住みよいつくばを実現するために、》市は、毎年ゼロカーボン達成状況を市民に知らせる義務を負う



など

個票31・32

ゼロカーボン実証実験のために、市は、ゼロカーボンのモデルとなる市営住宅や施設をつくる

個票33

省エネ改修への理解を進めるために、市は、空き家をモデル的に改修して、その情報を公開する

5 ロードマップの今後

- 市では、各部局が連携し、引き続きロードマップの実施内容を進めていきます。
- 定期的に進捗管理・内容の見直しを行い、報告していきます。
- 市民、事業者、行政がそれぞれの立場で行動を続けていきましょう。
- 更に、「地球温暖化対策実行計画区域施策編」にも、提言を反映すべく、改定作業を進めています。

法定計画への提言反映を目指して

～つくば市地球温暖化対策実行計画の改定について～

目次

1. 提言を実行計画へ反映するメリット
2. 実行計画への反映プロセス
3. どのように提言を実行計画へ反映したか
4. おわりに

つくば市地球温暖化対策実行計画区域施策編改定専門部会委員

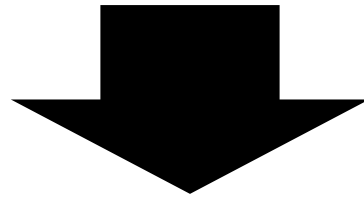
芝浦工業大学副学長

磐田 朋子

1. 提言を実行計画へ反映するメリット

つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）とは

- ・ 温室効果ガス削減と目指す姿の実現のために必要となる、市民や市内事業者を含めた市全体のアクションを定めたもの
- ・ 国の「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく法定計画
- ・ 現行計画（対象期間：2020～2025年度）の次期計画（改訂）を策定中



気候市民会議つくば2023の
提言を実行計画に反映することで…

メリット①：法的拘束力をもって提言内容の実現可能性を高めることができる

メリット②：民意が反映された納得感のある計画になる

→ 市民や事業者が、より主体的に取り組めるようになる

2. 実行計画への反映プロセス

つくば市地球温暖化対策実行計画区域施策編改定専門部会開催状況

回数(開催日)	内容
第1回 (2025/4/22)	<ul style="list-style-type: none">・つくば市及び国内の動向の整理・2030年度温室効果ガス削減目標の設定
第2回 (2025/6/26)	<ul style="list-style-type: none">・2030年度温室効果ガス削減目標の設定・計画の将来像と方針の見直し ←ロードマップ内容を反映・太陽光設置促進策(促進区域制度・太陽光設置促進条例)の検討
第3回 (2025/8/20)	<ul style="list-style-type: none">・2035年度・2040年度温室効果ガス削減目標の検討・各方針における個別事業(施策)の検討 ←ロードマップの個票を施策に紐づけることで、すべての方針にロードマップの考え方を反映・促進区域の設定方針の検討
第4回 (2025/9/26)	<ul style="list-style-type: none">・2035年度・2040年度温室効果ガス削減目標の検討・骨子案の確認・各施策の進捗管理指標の検討 ←「ロードマップの進捗管理=施策の進捗管理」
第5回 (2025/10/15)	<ul style="list-style-type: none">・2035年度・2040年度温室効果ガス削減目標の検討・促進区域の設定方針の確定・市民意見募集(パブリックコメント)に向けた最終案の確認

3. どのように提言を実行計画へ反映したか（計画の将来像）

【現行計画】

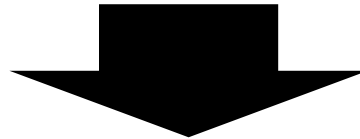
全員参加でつくる低炭素かつレジリエントなスマートシティ

I. 各主体が連携し、低炭素な活動が浸透しているまち

II. 低炭素な建物やモビリティによるスマートなまち

III. 高い環境意識をもち、持続可能なライフスタイルが確立しているまち

IV. 気候変動に適応できるまち



【改訂案】

「気候変動に適応し、安心して快適に暮らせる先進的な脱炭素都市」

- ① 各主体の連携により、先進的な脱炭素都市を実現しているまち
- ② 建物やモビリティの脱炭素化されているスマートシティ
- ③ 高い環境意識が醸成され、脱炭素型ライフスタイルが確立しているまち
- ④ 気候変動に適応しているまち

3. どのように提言を実行計画へ反映したか（ロードマップと施策の紐付け）

移動・まちづくり＝青 住まい・建物＝ピンク 消費・生活＝黄

計画の方針	施策
方針1 まち・建物の脱炭素化	1-1 建物の省エネ化・電化の促進
	1-2 脱炭素先行地域事業の推進
	1-3 公共施設の脱炭素化
方針2 脱炭素モビリティの普及促進	2-1 自動車の脱炭素化の促進
	2-2 自転車利用の推進
	2-3 公共交通の整備と利用促進
	2-4 徒歩やシェアモビリティ等によりアクセスしやすいまちづくり
方針3 脱炭素型ライフスタイルへの転換	3-1 市民の行動変容に向けた環境学習・普及啓発の推進
	3-2 3Rの推進
	3-3 地産地消の推進と食品ロスの抑制
方針4 再生可能エネルギーの導入促進と活用	4-1 建物への再エネの導入促進
	4-2 エネルギーの地産地消の推進
	4-3 効率的なエネルギーマネジメントの推進
方針5 気候変動への適応	5-1 気候変動による災害への対策の強化
	5-2 熱中症・感染症等への適切な対応
	5-3 農業分野における適応策の推進
	5-4 緑の保全と緑化の推進
方針6 各主体の連携による環境と経済の好循環	6-1 大学・研究機関や事業者、他自治体との連携強化
	6-2 「ゼロカーボンで住みよいつくば市へのロードマップ ～気候市民会議つくばの提言実現を目指して～」の推進
	6-3 事業者・研究機関等の脱炭素経営の促進・支援

3. どのように提言を実行計画へ反映したか（ロードマップと施策の紐付け）

区域施策編案

方針2 脱炭素モビリティの普及促進

市内における化石燃料由来自動車からの排出量の削減を目指し、脱炭素自動車の導入や入替を進めるとともに、環境負荷の少ない自転車や公共交通の利用拡大を目指す。

市は、公用車における脱炭素自動車の導入や入替を実施するとともに、道路環境や歩行者空間の整備など、アクセスしやすいまちづくりを推進する。

市民及び事業者は、脱炭素自動車の導入や入替に取り組むとともに、環境負荷の少ない自転車や公共交通の利用に取り組む。

○方針で推進する施策

~~~~~（中略）~~~~~

#### 2-2 自転車利用の推進

##### ・自転車利用の推進

自転車利用を進めるため、駐輪場や自転車専用レーン、サイクリングステーション等のインフラ整備を促進する。

#### 2-3 公共交通の利用促進

##### ・公共交通の利用を促す周知、インフラ整備の促進

市民や事業者の公共交通の利用を促進するため、低炭素な公共交通の充実に向けた調査や検討、インセンティブの検討に取り組む。

##### ・市民や事業者の公共交通の利用促進

インセンティブの付与等により、市民や事業者の公共交通の利用を促進する。

## 気候市民会議つくば2023提言書

# 移動・まちづくり

| 「ゼロカーボンで住みよいつくば市」像 | 推進する取組/効果的な施策                                               |
|--------------------|-------------------------------------------------------------|
| 歩いて暮らせる            | 取組 1 徒歩や自転車等を応援するために、事業者は徒歩や自転車等のゼロカーボン移動にポイント(商品券など)を与える   |
|                    | 取組 2 《徒歩や自転車等を応援するために、》事業者は、移動距離や歩数に応じてポイントなどを与えるしくみをアプリで作る |
|                    | 施策 1 歩きを応援するために、市は、《徒歩や自転車等の》ゼロカーボン移動にポイントを与える              |
|                    | 施策 2 歩きやすくするために、市は、広く安全な歩行者空間(ベンチ・雨よけ・歩きやすい素材や遊歩道)を整備・拡充する  |
|                    | 施策 3 天候に左右されず徒歩・自転車移動ができるように、市は、屋根付き道路等の雨を防げるものの整備を行う       |
| 自転車が便利             | 施策 4 《天候に左右されず徒歩・自転車移動ができるように、》市は、屋根付き道路等のモデル地区を整備する        |
|                    | 施策 5 徒歩・自転車移動ができるように、市は、屋根や木などで日陰をつくる                       |
|                    | 取組 3 自転車移動を増やすために、事業者や地域・自治会は、(電動・非電動問わず)レンタサイクルを増やす        |
|                    | 施策 6 自転車が快適に走れるように、広く安全で見てわかりやすい自転車専用レーンを設置する               |

### 3. どのように提言を実行計画へ反映したか（ロードマップの進捗管理）

#### 方針6 各主体の連携による環境と経済の好循環

温室効果ガス排出削減と経済成長の同時実現に資する地球温暖化対策を推進し、環境負荷の低減と経済の活性化が両立する社会の実現を目指す。

市は、大学・研究機関や事業者との連携による脱炭素技術等の取組を進めるとともに、国や県、他自治体との広域連携による脱炭素の取組を推進する。

市民及び事業者は、大学・研究機関や事業者と連携して、環境と経済の好循環に取り組む。

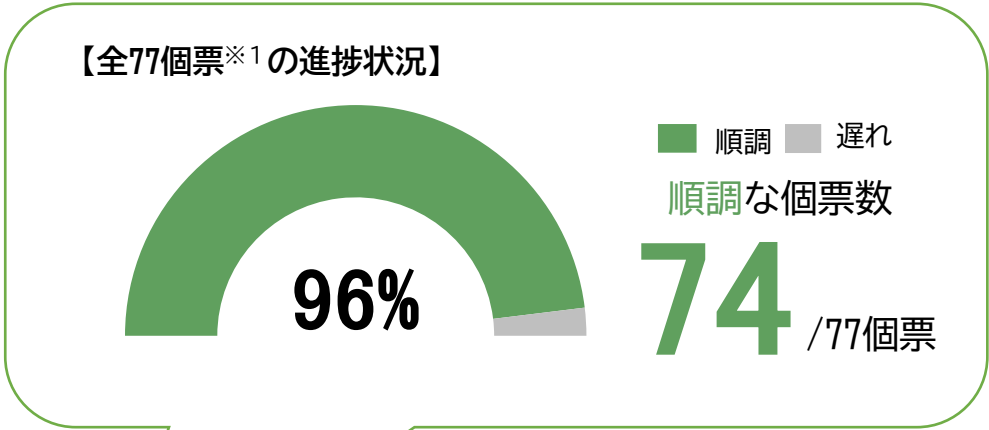
#### ○方針で推進する施策

~~~~~（中略）~~~~~

6-2 「気候市民会議提言ロードマップ」の推進

・「気候市民会議提言ロードマップ」の推進

気候市民会議提言ロードマップの施策・取組を推進する。



○方針に紐づく指標

| 指標 | 現状（2024年度） | 目標（2030年度） |
|-----------------------------------|------------|------------|
| 6-2 「気候市民会議提言ロードマップ」の推進（所管：環境政策課） | | |
| ロードマップの進捗状況 | 〇〇〇 | 〇〇〇 |

4. おわりに

- ・2025/12/8～2026/1/7に実施する
パブリックコメントで、市民の皆様からの意見を募集します
- ・提言が実行計画へきちんと反映されているか、
ご確認をお願いします！
- ・この後のグループワークをもとに、
ご意見をお寄せください！



質疑応答

- ✓ 報告につき、ご質問がありましたらどうぞ。
(オンライン会場の方は、
チャット欄にご記入ください)



報告①

気候市民会議つくばの概要・提言の概要を知る

報告②

ロードマップとその進捗・実行計画改定の状況を知る

パネルディスカッション

自治体において、気候市民会議を実施することの意義は？

グループ対話

市民の声（提言）を温暖化対策（実行計画等）に反映するには？



パネルディスカッション

- ✓ 自治体において、
気候市民会議を実施することの意義は？



報告①

気候市民会議つくばの概要・提言の概要を知る

報告②

ロードマップとその進捗・実行計画改定の状況を知る

パネルディスカッション

自治体において、気候市民会議を実施することの意義は？

グループ対話

市民の声（提言）を温暖化対策（実行計画等）に反映するには？



グループ対話

- ✓ 市民の声（提言）を、
温暖化対策（実行計画等）に反映するには？
- ✓ 一人一言（前半の感想を一言ずつ共有） 約 5 分
- ✓ テーマをめぐる自由な対話 約20分
- ✓ 一人一言（対話の感想を一言ずつ共有） 約 5 分



国立環境研究所 松橋 啓介さん